

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 5週

集計期間 1/27-2/2

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症	1		1	1										3
咽頭結膜熱														
溶連菌感染症						1	1			1				3
感染性胃腸炎		4	8	9	15	16	19	21	10	12	9	31	2	156
水痘			1	1		1								3
手足口病														
伝染性紅斑														
突発性発疹		2	1											3
百日咳														
ヘルパンギーナ				1			1							2
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ							1					1		2
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu	1	2	18	8	13	12	29	28	35	22	15	69	2	3
小児科定点総数 429 増減 108 前週比 133.6% 定点当たり 71.5														
病院:開業医 8:421 増減 -2:+110														
内科Flu					1				1			7	5	57
インフルエンザ総数 328 増減 169 前週比 206.3% 定点当たり 36.4														
小児科:内科 257:71 増減 +135:+34														

総数429、前週の133.6%と、大幅に増加です。

首位は、インフルエンザになりました。前週比210%、定点当たり42.8と倍増です。

2位は、感染性胃腸炎、前週比93%、定点当たり26と、やや、減少です。

以下は、インフルエンザに抑圧されて、全て、定点当たり1未満で少数です。

RSウイルス感染症、3名、マイコプラズマ2名報告されています。

内科も含むインフルエンザ、前週比206%で倍増、9定点中、9定点から報告です。

小児科定点は、A型174、B型70、型報告無13で、A型が71%とB型が増えて来ました。

内科定点では、A型59名、B型12名で、A型が83%で、こちらは、A型が増えています。

年齢分布を見ると、小学生以上はBが多く、未就学児は、Aが優勢ですので、Aの変異は小さく、小流行、Bが出て来たので、数が増えているんだと考えています。

例年、A型メインで流行する時は、4週頃がピークで、数は、小児科定点のみの数字で、小流行で300、大流行で500です。

ここが、ピークで、小流行で終わるのか、さらに増加で大流行なのか、まだ、判断出来ませんが、このカーブは、8-10週にピークが来る、B型メインの形かもしれません。